

平成30年度事業報告書

公益目的事業（研究事業）

I 蘚苔・地衣類の研究

1. 蘚類の多様性と分類について研究する

- (1) ホウオウゴケ属 *Fissidens*（ホウオウゴケ科）の分子系統学的研究の研究成果を発表した。分子系統学的研究から蒴歯の表面構造や葉の舷の状態、染色体数が系統を反映していることが明らかになり本属の形態進化について議論するとともに、3 亜属 7 節からなる属内分類体系を新たに提案した。（論文 1 件）
- (2) ニセキンシゴケ属 *Pseudoditrichum*（ニセキンシゴケ科）の分類学的研究を継続した。
- (3) センボンゴケ科 *Pottiaceae* の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。分子系統学的研究からコゴケ属 *Weissia* の進化には交雑が関わっていることを見出し学会で発表した。（学会発表 5 件）
- (4) シッポゴケ目 *Dicranales* およびその周辺分類群の系統・分類学的研究を継続した。

2. 苔類の多様性と分類について研究する

- (1) ヤクシマアマバゴケ属 *Hattoria* の分類学的研究を進め研究成果を発表した。DNA を用いた分子系統学的研究から本属がアマバゴケ科 *Anastrophyllaceae* に含まれることを明らかにした。（論文 1 件）
 - (2) ケビラゴケ科 *Radulaceae* に関する分類学的研究を継続した。
- ##### 3. 地衣類の多様性と分類及び化学成分について研究する
- (1) 日本産地衣類のうち、これまで研究が不十分であった群を選び、分類・形態、化学成分、生態、分布について研究し、成果を発表した。（論文 4 件）
 4. 日本及び周辺地域に分布する蘚苔・地衣類の希少種及び絶滅危惧種に関する多様性・系統関係・分布・生態の調査・研究を行い、研究成果を発表した。（論文 5 件、学会発表 3 件）
 5. 環境省レッドリスト作成に関連した絶滅危惧蘚苔類の調査を屋久島行った。（平成 30 年 9 月）
 6. スペイン（マドリッド自治大学）、チェコ（ボヘミア大学）で蘚苔類標本の調査・研究を行った。（平成 30 年 6 月）
 7. オーストラリア（Queensland Herbarium）での標本調査・研究及び XIVth Australian Bryophyte Workshop に参加・研究発表を行った。（平成 30 年 9 月）
 8. 研究所の若手研究員が日本植物分類学会第 18 回大会（東京）において日本植物分類学会奨励賞を受賞した。（平成 31 年年 3 月）

II 蘚苔・地衣類のデータベース作成

1. 蘚苔類タイプ標本（約 4,100 点）のデータベース作成を行い、当初の予定通り約 1,000 点の登録作業を行った。今後 2 年間で未登録のタイプ標本約 2,100 点の登録を行う予定である。
2. 日本産苔類のチェックリストの改訂を行い、「日本産タイ類・ツノゴケ類チェックリスト, 2018」を発表した。
3. 島田分室所蔵標本のデータベース化を継続的に行った。

III 資料の収集・整理、及び普及活動

1. 現地調査・交換・受入により、内外の蘚苔・地衣類の資料を収集した。
 - (1) 蘚苔類の標本 3,516 点（国内 793 点、外国 2,723 点）を収集した。（大内標本 7,428 点は別述）
 - (2) 購入・交換により蘚苔・地衣類関係の文献 165 点（購入 50 点、交換 115 点）を入手した。
 - (3) 福岡県の植物研究者である大内準氏の地衣類標本 7,428 点を遺族の寄贈により受け入れた。
2. 蘚苔・地衣類関係の資料（標本、図書、別刷など）の整理を続けた。
 - (1) 本年度収集された標本 3,516 点の仕分けを行った。
 - (2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを続けた。
 - (3) 収納済み標本の仕分け見直しを引き続き行った。
 - (4) 国内及び外国産蘚苔類標本の整理・まとめ及び標本移動を行った。

- (5) 研究論文原稿蔵書の整理を行った。
- (6) 高知分室の標本の整理を行い、十文字資料館に移動した。
- (7) 岡崎分室から移動した標本及び資料の整理を行った。
- (8) 島田分室の標本整理を行った。
- 3. 内外の研究者の要請に応じ、標本の貸出(国内3件8点、国外5件12点)を行った。
- 4. 内外の研究者及び同好者の要請に応じ、蘚苔・地衣類標本の同定を行った。
- 5. 自然保護及び蘚苔・地衣類を対象とした学術研究活動の発展に貢献するため、自然観察会、講演会、その他の普及活動を行った。
 - (1) 平成30年6月 日南市 はじめてのコケ女子会(観察会)(日南市)参加者7名
 - (2) 平成30年6月 飢肥城下町保存会 ようこそコケの世界へ(講演会・コケ玉作り)(日南市)参加者39名
 - (3) 平成30年6月 日南市 新宿みやざき館 KONNE 日南市 PR イベント(東京都)参加者約20名
 - (4) 平成30年6月 熊野古道自然学校 コケの観察会「蘚苔類って何??」(三重県立熊野古道センター)参加者20名
 - (5) 平成30年7月 エコネットワーク日南「環境講話とテラリウム作り」(日南市)参加者25名
 - (6) 平成30年7月 みやざきサイエンティスト育成推進委員会「コケ観察会と標本作り」(日南市)参加者約39名
 - (7) 平成30年8月 宮崎県造園緑地協会「造園とコケ」(日南市)参加者約10名
 - (8) 平成30年10月 日南市 「日本の貴重なコケの森認定証書授与式」(日南市)参加者約20名
 - (9) 平成30年10月 日南市 「日本の貴重なコケの森記念コケ観察会」(日南市)参加者30名
 - (10) 平成30年11月 服部植物研究所「サイエンスカフェ」(日南市)参加者約20名
 - (11) 平成30年11月 城下町飢肥まちづくり協議会「世界的なコケ博士服部新佐」(日南市)参加者152名
 - (12) 平成30年11月 宮崎県自然環境課自然保護推進員研究会「コケと自然保護について」(日南市)参加者25名
 - (13) 平成30年11月 日南市立飢肥小学校「レッツゴー町たんけん」(日南市)参加者約50名
 - (14) 平成30年12月 飢肥城下町保存会「コケテラリウム作り」(日南市)参加者20名
 - (15) 平成30年12月 日南市「コケガイド養成講座①」(日南市)参加者8名
 - (16) 平成31年1月 日南市「コケガイド養成講座②」(日南市)参加者約15名
 - (17) 平成31年2月 日南市「コケガイド養成講座③」(日南市)参加者約15名
 - (18) 平成31年3月 宮崎南部森林管理署「講義と観察会」(日南市)参加者約10名
 - (19) 各種メディアへの対応を行った。内訳はテレビ3件、ラジオ2件、雑誌6件、新聞14件であった。
- 6. 研究活動の充実・発展及び社会に開かれた研究所として市民の生涯学習活動を支援する目的で、一般より市民研究員(1名)を受け入れ、所属研究員と協力して蘚苔類に関する調査研究を行った。
- 7. 蘚苔・地衣類学の発展及び服部植物研究所の研究活動に関する情報を広く一般に知ってもらうために常設展示場を設け、所蔵資料や研究成果等の展示・説明を行った。年間の入場者数は3,000人であった。
- 8. 展示場においてコケに関する書籍、物品の販売を行った。
- 9. ホームページ(日本語版・英語版)の更なる充実を図り、国内外の研究者及び一般の方に向けて情報を発信した。アクセス数は13,424であった。
- 10. 若手研究者が当研究所で研究を行うための旅費等の補助を行った。(2名3回)
- 11. 資料へのアクセスや研究への利用状況の情報把握を行った。
 - (1) J-STAGEに搭載されているHattoria(Vol. 1-9)へのアクセス数は3,935、論文PDFのダウンロード数は3,876、財団法人服部植物研究所報告(The Journal of the Hattori Botanical Laboratory)(No.91-100)へのアクセス数は7,772、論文PDFのダウンロード数は5,762であった。

- (2) 植物分類学に関連する主要な学術専門誌に掲載された論文のうち、研究所が発行した雑誌及び書籍が引用されている論文は98編、研究所の標本が引用されている論文は9編であった。
- 1.2. 服部植物研究所（団体）が宮崎県文化賞（宮崎県教育委員会）受賞した。（平成30年11月）
 - 1.3. 服部植物研究所が国登録有形文化財（建造物）に登録された。（平成31年3月）

IV 研究成果の出版と販売

1. Hattoria Vol. 9 の編集作業を行った。
2. Hattoria Vol. 9 の J-STAGE 登載を完了した。
3. 財団法人服部植物研究所報告（The Journal of the Hattori Botanical Laboratory）及び Hattoria バックナンバーの販売を行った。
4. 財団法人服部植物研究所報告 No.91-100 の J-STAGE 登載及び無料公開を行った。
5. 当研究所発行の蘚苔類に関する書籍（Illustrated Moss Flora of Japan, Part 1-5; コケに親しむ 宮崎県はコケの宝庫）の電子化及びホームページ上での無料公開を行った。

その他の事業

1.1 収益事業

- ・土地の賃貸による収益事業をおこなった。
- 1). 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地をローソンに賃貸した。
- 2). 基本財産である宮崎県日南市飢肥6丁目の宅地を駐車場（5台/月）として賃貸した。

1.2 山林事業

- ・本年度、山林事業は実施しなかった。

1.3 寄付金募集

- ・寄付金をホームページで募った他、講演会等の機会があるたびに寄付のお願いをした。
- また、展示場に募金箱を設置し入館者に対して寄付を募った。

平成30年度の寄付金において、故人となった研究者が収集していた標本を遺族の依頼で受け入れたところ、まとまった額の寄付金を頂くことができた事は特筆すべき事項である。

2. 財団運営

2.1 理事会の開催

- ・平成30年6月9日（土）
 - 議題・平成30年度収支予算案変更承認の件
 - ・平成29年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
- ・平成31年3月17日（日）
 - 議題・平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

2.2 評議員会の開催

- ・平成30年6月25日（日）
 - 議題・平成30年度収支予算案変更承認の件
 - ・平成29年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
- ・平成31年3月24日（日）
 - 議題・平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件